



区民による身近な生物調査ロゴマーク

みんなで探して発見! 身近な自然

いつもいきもの情報をありがとうございます。
いただいた情報は、貴重な記録として集約いたしております。
紙面の都合上全部をご紹介できないことをお許しください。
みなさんが発見したいいきものや自然情報をご紹介します!
みなさんはどんな発見をしましたか? ふりかえってみましょう!

みなさんからいただいた情報を掲載しています!



ヒバカリの幼体(ナミヘビ科)



6月25日に東京大学駒場I
キャンパスで目撃

昔は毒を持っていると誤解されていて、「咬まれれば、命はその**日ばかり**」というから、ヒバカリという名前がついたと言われています。毒は無く、大人しい性質です。

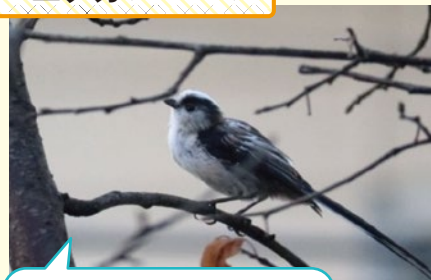
アジアイトトンボ (イトトンボ科)



8月16日に碑文谷公園で目撃

水生植物が生えた池、沼、水田などで見られます。メスは水面近くの植物に産卵します。

エナガ(エナガ科)



8月13日に目黒二丁目目撃

プルーンの木に止まっている様子を目撃。シジウカラの群れと一緒に飛び回っていました(自然通信員より)。漢字で「柄長」と書き、シルエットが柄杓に似ていることから名前がついたと言われています。

ウラナミシジミ (シジミチョウ科)



9月22日に呑川本流緑道で目撃

はねの裏に縞模様があることが名前の由来と言われています。幼虫はマメ科の植物を食べて育ちます。

アカアシオオアオカミキリ (カミキリムシ科)



7月17日に碑文谷公園で目撃

夜行性で、クヌギなどの樹液に集まります。東京都では、区部絶滅危惧IB類に区分されています。目黒区では、70年ぶりに報告されました!

アオスジアゲハ (アゲハチョウ科)



6月19日に東京都立駒沢
オリンピック公園で目撃

幼虫はクスノキ科の植物を食べて育ちます。そのため、クスノキの多い場所によく見られます。

目黒区総合庁舎屋上庭園「目黒十五庭」にもさまざまないきものがいます

ニホンヤモリ(ヤモリ科)



12月末ごろに発見

積んである平板の下にたくさんのニホンヤモリが棲んでいました。

キシノウエトタテグモ (トタテグモ科)



9月4日に目撃

土の中に管状の巣をつくり、入口には扉をつくります。東京都では、区部絶滅危惧II類に分類されています。

ショウリョウバッタ(バッタ科)



8月4日に目撃

8月17日に原町一丁目目撃

メスの大きさは、オスの倍ほどあります。オスは驚くと前後のはねを打ち合わながら、キチキチと音を出しながら飛びます。

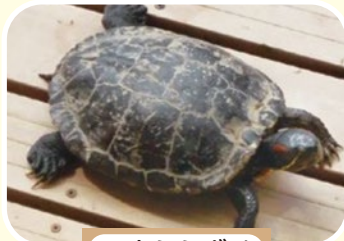
いきもの情報集計結果!

2023年は身近な両生類・爬虫類というテーマでみなさまから、たくさんの情報をいただきました。今までに寄せられた情報から、どんな場所で見ついているか見てみましょう。

2023年に報告があった場所



アオダイショウ



アカミミガメ



駒場野公園

凡例
● 爬虫類
● 両生類

目黒区総合庁舎

中目黒公園

碑文谷公園

東京工業大学



ニホンヤモリ



ヒキガエル



ニホンカナヘビ



ヒガシニホントカゲ

爬虫類	種類	これまでに報告された数 (2023年の数)	こんな場所で見られました
	アオダイショウ	187 (7)	駒場野公園、中目黒公園、目黒川、すずめのお宿緑地公園など
アカミミガメ	422 (22)	目黒川、駒場野公園、碑文谷公園など	
カナヘビ	168 (1)	駒場野公園、中目黒公園、大岡山など	
フサガメ	53 (1)	目黒川、駒場野公園、碑文谷公園など	
トカゲ	224 (6)	駒場野公園、中目黒公園、大岡山など	
ヤモリ	727 (3)	自宅の庭や窓など(区内全域)	
スッポン	30 (3)	目黒川、駒場野公園など	
ヒバカリ	52 (2)	中目黒公園、駒場公園など	
幼体等同定不可のトカゲ類・ヘビ類	216 (1)	区内全域	

両生類	種類	これまでに報告された数 (2023年の数)	こんな場所で見られました
	ヒキガエル	1615 (25)	公園のビオトープ、自宅の池など
アマガエル	106 (3)	駒場野公園、中目黒公園、東京工業大学など	
ウシガエル	30 (1)	駒場野公園、碑文谷公園など	
ヤマアカガエル	18 (0)	中目黒公園、中根公園、目黒区総合庁舎など	
オタマジャクシ等同定不可のカエル類	25 (5)	区内全域	